

各区からのお知らせや魅力・
取り組みなどを紹介します。

区民のページ

※人口は住民基本台帳による数(平成31年3月31日現在)。



北区

人口: 295,155人 面積: 450.70km²

北区役所

〒700-8544 北区大供一丁目1-1(市役所本庁舎および分庁舎内)

3つの幹線用水路の水は旭川から ～合同用水路、西川用水路、座主川用水路～

旭川合同用水路は、約350年前に整備された管掛用水路を昭和15年度～28年度にかけての旭川合同用水改良事業の一環として改修されたものです。新大原橋の北約500mから旭川の水を引き込んで北区玉柏の山裾を南下。北区三野から引き込んだ西川用水路と合流し、多くの支線水路へ分流しながら旭川と笹ヶ瀬川との広い地域の農地を潤し、児島湖に至ります。

また、北区玉柏で合同用水路から分流した祇園用水路は、旭川の下をくぐって対岸の旭川荘の横に流れ出

て、祇園大樋でさらに分流し、その水は中区のみならず東区西部まで至ります。西川緑道公園の区間は、岡山藩主池田忠雄が西側からの防衛を考慮しつつ城下町拡大のために整備した環濠用水に当たります。

三野公園南で取水する座主川用水路は、約650年前に築造された水路を昭和40年代に改修したもので、岡山大学を西に、さらに北区矢坂西町から笹ヶ瀬川の下をくぐって一宮地区へと流れ、馬屋郷用水路として北区今保まで流れています。

農繁期には水位が高くなりますが、台風接近や大雨が予想される際は旭川からの取水を制限し、水位の低下に努めています。

新緑の季節を迎え、水と緑あふれる岡山の水路周辺を散策してみたいかがでしょうか。



▲上流から見た北区玉柏の別れ樋
右は合同用水路として北区三野へ、
左は祇園用水路として中区祇園へ



中区

人口: 147,382人 面積: 51.24km²

中区役所

〒703-8544 中区浜三丁目7-15

操山公園里山センター20周年 ～豊かな自然と文化にふれる拠点～

岡山駅から東へ4kmと市街地から近い位置にある操山公園里山センター(中区沢田)は、操山に残る豊かな自然との触れ合いや、人と自然が調和してきた里山の暮らしに親しみ、学ぶことのできる施設で、平成11年の開館から今年で20周年を迎えます。



館内には、多目的ホールや会議室、ふれあいスペースなどを完備しており、屋外にはふれあい広場、炭焼き小屋、里山農園などがあります。また、里山に関係した行事・講座を年間100回あまり開催しています。

これから、操山の木々は新緑の色をますます増し、ハイキングには絶好の季節が到来します。センターでは操山ガイドマップを配布していますので、センターを発着点に、澄んだ空気の中で自然と触れ合いながら春の一日を満喫しませんか。野外には注意が必要な生き物もいますので、

服装を含め十分安全に気を付けて里山を楽しんでください。



操山公園里山センター

◆所在地 中区沢田649-2

◆開館時間 8時30分～17時

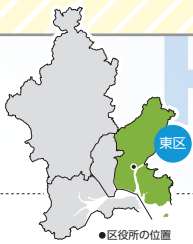
◆休館日 毎週火曜(祝日の場合は翌日)、年末年始

●問い合わせ ☎086-270-3308

各区役所への電話は、市役所代表番号からおつなぎします。

市役所代表

☎086-803-1000



東区

人口：95,305人 面積：160.53km²

東区役所

〒704-8555 東区西大寺南一丁目2-4

第10回西大寺五福通りレトロ・マルシェ ～昭和初期の建物の並ぶ通りでお買い物！～

西大寺会場で知られる西大寺観音院の門前町として栄えた五福通り（東区西大寺中三丁目）。昭和レトロな雰囲気が残ることから映画やドラマのロケ地に選ばれるなど、近年注目を集めています。

この五福通りを舞台に、毎年5月



と10月にレトロ・マルシェを行います。第10回目となる今回は5月26日（日）9時～15時の開催です。地元の農産物や加工品、和・洋菓子、雑貨などを販売する約40店が出店するほか、中高生などによるパフォーマンスや音楽のステージイベント、五福通りでロケが行われた「魔女の宅急便」の格好をして写真を撮影できる魔女飛び撮影会などが開催されます。

ご家族、ご友人と一緒に、できればレトロなファッションに身を包み、周辺の散策と合わせて、ゆっくりと西大寺を楽しんでください。



▲魔女飛び撮影会の様子

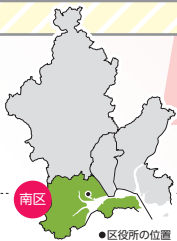
なお、当日は近隣の駐車場が大変混み合いますので、天満屋ハピータウン西大寺店や吉井川右岸土手下臨時駐車場（岡山商工会議所HP参照）をご利用ください。

●問い合わせ

同マルシェ実行委員会

（岡山商工会議所西大寺支所内）

☎086-942-0101



南区

人口：169,513人 面積：127.48km²

南区役所

〒702-8544 南区浦安南町495-5

黄金色の絨毯 ～児島湾干拓地の麦の収穫～

市南部は、全国でも有数の作付面積を誇る麦の一大産地です。

主に栽培されているのは、ビールの原料となる二条大麦で、穂先が矢羽根の形に似て、2列（二条）に並んで実るのが特徴です。

麦畑は広域農道児島湾線（千両街



道）を浦安方面から藤田・灘崎方面へ向っていくと、左右に広がっています。麦の実る時期には、まるで黄金色の絨毯を敷き詰めた中にあるような光景です。

また、貝殻山中腹の市民憩いの森まで足を延ばすと、黄金色や茶色のモザイク模様のような麦畑を一望することもできます。

晴れた日には、空からはヒバリの声、大地には児島湾からの風にさらさらと音を立てる麦の穂。実り豊かな大地で初夏を存分に感じてみてはいかがでしょうか。

麦畑の見頃は5月下旬から6月初旬の収穫までです。収穫した後は、たちまち一面の水田風景へと変化していき、また違った風景を楽しむことができます。



▲麦畑の様子

●問い合わせ

南区役所農林水産振興課

☎086-902-3520